

<報道発表資料>

令和8年3月4日

京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

令和7年度（第23回）京都環境賞

受賞者の決定及び表彰式の開催

京都市では、市民や事業者の皆様の環境に関する関心を高め、様々な実践活動の更なる推進を図るため、平成15年度に京都環境賞を創設し、地球温暖化の防止、生物多様性の保全や循環型社会の推進等の環境保全に貢献する活動を実践されている方を表彰しています。

この度、令和7年度（第23回）京都環境賞の受賞者を決定し、表彰式を開催します。

【表彰式の概要】

- 日時 令和8年3月10日（火）午後4時～午後5時
- 場所 京都市役所本庁舎4階 正庁の間
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
- 受賞者 京都環境賞（大賞）：表彰状及び副賞（表彰銘板及び賞金10万円） 1者
特別賞（7部門）：表彰状及び副賞（賞金2万円） 7者
奨励賞：表彰状及び副賞（記念品） 11者
※詳細は別紙参照
- 出席者（予定）
 - ・受賞者
京都環境賞（大賞）及び特別賞の受賞者
 - ・来賓
下村 あきら 京都市会議長、吉田 孝雄 京都市会副議長
 - ・京都市環境審議会 京都環境賞選考部会
山本 芳華 部会長
 - ・京都市
松井 孝治 京都市長 ほか
- 取材申込方法 取材の事前申込みは不要です。直接会場へお越しください。

<お問合せ先>

京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

電話：075-222-3951

令和7年度（第23回）京都環境賞 受賞者及び活動内容

今年度は、42件の応募の中から、京都市環境審議会京都環境賞選考部会での議論を踏まえ、下表のとおり、19者を受賞者として決定しました。

1 受賞者

(1) 京都環境賞（大賞）及び特別賞

（敬称略、五十音順）

| 賞の種類 | | 受賞者 |
|-----------|----------|------------------|
| 京都環境賞（大賞） | | 京都府立桂高等学校 菌類研究班 |
| 特別賞 | 地球温暖化対策賞 | 株式会社マガザン |
| | 生物多様性保全賞 | 落ち葉探偵 |
| | 循環型社会推進賞 | 宝酒造株式会社 |
| | 環境担い手賞 | 京都文教高等学校ダンス部 |
| | 個人活動賞 | やかた まさき 家形 正樹 |
| | KES推進賞 | 日本新薬株式会社 山科植物資料館 |
| | エコ学区賞 | 中立エコ生活推進会議 |

(2) 奨励賞

（敬称略、五十音順）

| 賞の種類 | 受賞者 |
|------|-------------------------|
| 奨励賞 | イオンモール京都桂川 |
| | IVUSA 京都今出川クラブ |
| | 小川珈琲株式会社 |
| | octangle 合同会社 |
| | 桂川クラブ |
| | garDEN 株式会社 |
| | 公益財団法人 京都市ユースサービス協会 |
| | スウィング |
| | 豊園エコ推進委員会 |
| | 桃山エコ推進委員会 |
| | 山と街をつなぐ「北山杉の里マルシェ」実行委員会 |

2 活動内容（敬称略）

京都環境賞（大賞）

| | |
|--------------------|---|
| 京都府立桂高等学校 菌類研究班 | 小川珈琲(株)から提供されたコーヒー残渣を活用し菌床を作成、きのこの栽培に成功した。きのこ収穫後の廃菌床を堆肥化し、福祉施設「ここリンク山城」に提供している。同施設が堆肥を使用して栽培した野菜を小川珈琲(株)に卸すことにより、農福連携での地域循環型農業を実施している。また、菌床を用いたきのこ栽培キットを開発し、購入者がきのこを栽培することで食農教育につなげることを目標としている。 |
|--------------------|---|

特別賞

| | |
|----------|--|
| 地球温暖化対策賞 | |
| 株式会社マガザン | MIX プロジェクトは、京都市上京区のカフェ「CORNER MIX」を拠点に、京都内外で展開する体験型サーキュラーエコノミー活動である。廃棄予定の食材を使用したミックスジュースを飲んだり、自転車アップサイクル型ミキサー「MIX BIKE」で自らの力で作ったりする体験を通じて、おいしさと楽しさを入口に、来店者や参加者が自然に環境問題への関心を育める仕組みを提供している。多世代・多分野のステークホルダーと連携し、多様な地域資源を活かした共創の場を展開している。 |
| 生物多様性保全賞 | |
| 落ち葉探偵 | 樹木が落とす枝葉（落ち葉）の行方を辿ることで、森の循環や生き物の生態系などを学ぶ講座やワークショップ、自然観察会、コンポスト（堆肥化）に、学校や行政、企業と協働し、取り組んでいる。土そのものの不思議やツチモン（土壌生物）から多様な学びを深め、人と生きものが共生する暮らしや社会について考えるきっかけを提供している。 |
| 循環型社会推進賞 | |
| 宝酒造株式会社 | 京都における耕作放棄地の活用や新規就農支援等を目的に、生産者・加工者・販売者が連携し、協議会を設立し、「京檸檬」の栽培やブランディングに取り組み、持続可能な産地づくりを目指して活動している。協議会は、農家が育てた「京檸檬」をすべて買い取る仕組みを整備し、宝酒造はその出口の役割として、「京檸檬」を使用した商品「寶 CRAFT <京檸檬>」を地域限定で通年発売することで、収穫量や品質にばらつきがあっても、農家が安心して栽培を継続できるよう支援している。 |

| | |
|-----------------------------|--|
| 環境担い手賞 | |
| 京都文教高等学校ダンス部 | <p>「SDGs をもっと身近に」をテーマに、若年層にも環境問題を「身近なこと」として感じてもらえるよう、同校ダンス部専門マガジン「ダンスク！」と大塚製薬(株)の後援・協力を得て動画を作成し、YouTube 上に公開している。動画は、高校生がSDGs や地球温暖化などの環境問題を「自分ごと」として捉えてもらえるように、学校を舞台に、地球温暖化を食い止めることをテーマとしている。</p> |
| 個人活動賞 | |
| <p>やかた まさき 家形 正樹</p> | <p>保育園や学童保育、イベント会場などにおいて、生きものや自然環境のことをより深く知るための移動水族館や企画展を実施している。外来種を増やさないためには、大人に正しく理解してもらうとともに、子どもが興味を持つことが重要であると考え、外来種問題や、生きものの終生飼育などについての説明も行っている。</p> |
| K E S 推進賞 | |
| <p>日本新薬株式会社 山科植物資料館</p> | <p>植物の多様性保全活動を行うことを目的に、植物園の栽培管理機能を生かした有用植物・文化的植物（フタバアオイ等）の保全・調査を行っている。また、様々な年齢層、興味幅に応じた、見学研修会、イベントやセミナーの開催、苗の増殖・提供、植物調査などを実施している。フタバアオイの実生栽培による大量増殖法を見つけ、日本植物園協会誌第59号（令和7年4月発行）に「葵プロジェクト」と連名で発表した。</p> |
| エコ学区賞 | |
| 中立エコ生活推進会議 | <p>中立エコ生活推進会議のメンバーと地域住民が、地元の小学4年生を対象に、堀川地域での役割について出前授業を実施している。自然を取り戻すため、ホタルを毎年見られる環境づくりを目標に、子どもたちが堀川でのホタルの育成や清掃活動など、自然環境保護の取組を実施している。また、ホタルが生息しやすいよう、カワニナの飼育や植樹なども行っている。</p> |

奨 励 賞

| | |
|----------------|---|
| イオンモール京都桂川 | 「クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）」へ登録し、定期的に最新の機器導入を行うことにより、省エネにつながる設備環境を整えている。また、地域のお客様を巻き込んだリペアカフェの開催や、太陽光発電、電気自動車充電ステーション、公共交通利用の促進、衣料品回収などを行い、省エネルギー設備の導入や循環型社会の拠点となる「サーキュラーモール」になることを目標に活動している。 |
| IVUSA 京都今出川クラブ | 京都の学生が活動主体となり、行政や地域と連携して、鴨川に繁殖する特定外来生物オオバナミズキンバイを除去することにより、鴨川の景観の保全や、下流の桂川や淀川への拡散を防いでいる。当日までに、オオバナミズキンバイの脅威、見分け方、除去手順を学生間で共有する勉強会を行い、知識量の差を無くす工夫も行っている。 |
| 小川珈琲株式会社 | 日々大量に廃棄処分されていたコーヒー生豆の麻袋について、繊維商社と協力し、フェルト工場で再生原料として自動車の天井材などに加工することで、年間 24 トンの麻繊維の再資源化を行っている。当該取組は、2023 年に新設された社内表彰で受賞した取組であり、SDGs に対する理解・意識向上が社員に根付き、取組の継続につながっている。 |
| octangle 合同会社 | 持続可能な社会の創造を目指し、廃棄されるビニール傘から開発した独自素材を活かし、「可愛い」「欲しい」と思えるバッグやアクセサリを開発するとともに、ワークショップやアップサイクルアートの制作・展示を通じて、楽しみながら環境問題を学ぶ機会を提供している。また、就労移行支援事業所と協働し、障害のある方の安定した就労機会を創出するとともに、生産体制を強化した。 |
| 桂川クラブ | 桂川において、月 2 回の自然観察や、桂川等で見つけた動植物の記録、松尾橋周辺の清掃活動、保全活動を行うとともに、クラブ会報に写真と共に日時など掲載し、保存等を行っている。また、これまでの観察、美化、保全などの諸活動の集大成として、写真集「桂川 100 選」を出版した。さらに、「きょうと生物多様性センター」や京都市との連携で、出張観察会も実施している。 |
| garden 株式会社 | 自然の力を最大限活用し、快適で省エネな住まいを実現する設計手法「パッシブデザイン」を取り入れた住宅の設計施工を行っている。また、住宅検討者向けの家づくりセミナーを行ったり、高校生向けにオンラインの省エネ勉強会や、廃材を利用した子ども向け木工教室を開催するなど、学生や子どもに向けた省エネ啓蒙活動にも力を入れている。 |

| | |
|--|---|
| <p>公益財団法人 京都市ユースサービス協会</p> | <p>行政、大学、地域、その他関係団体と協働し、SDGs イベントへの協力開催やフードバンク拠点、フードバンクを活用した若者食堂、¥0 マーケット、若者との「エコバスツアー」などを実施している。若い職員からの日頃の声かけが参加につながっており、「なんかやってる、参加してみよう」という“気軽な参加”を目指して活動している。</p> |
| <p>スウィング</p> | <p>障害の有無、性差、年齢差など、あらゆる差異を超え、誰もが一市民として、主体的に環境保全、地域創造に取り組む風景を当たり前とすることを目的に、上賀茂地域を中心に、障害者支援施設「スウィング」の利用者とスタッフ、一般参加者による清掃活動を行っている。清掃活動に当たっては、戦隊モノのコスチュームに身を包んだ 5~6 人が先頭に立って、清掃活動を行いながら、楽しく PR を行っている。</p> |
| <p>豊園エコ推進委員会</p> | <p>「地域・学校・企業」が協働して、親子や地域住民と一緒に参加出来るイベントを継続的に開催することで、安心・安全・エコな街づくりを目指して活動しており、「もったいない」をテーマに、生活に密着した、楽しく気軽に出来るエコライフの情報提供を行っている。ワークショップには学区で育った高校生エコ委員が参加し、世代の近い小学生と交流するなど、担い手を育てる場にもなっている。</p> |
| <p>桃山エコ推進委員会</p> | <p>桃山学区の住民が自発性と協調性を基本としながら環境に関する意識を高め、地域に根ざしたエコ活動を実践している。グリーンカーテンの普及、堆肥作り、桃山小学校やももやま児童館への出前授業の実施など、地域活性化や子どもの教育にも力を入れた活動を行い、エコ学区活動が 10 年を迎えた。</p> |
| <p>山と街をつなぐ 「北山杉の里マルシェ」 実行委員会</p> | <p>森林整備や体験活動を通じて、子どもから大人までが山を守る担い手となる仕組みを築くことを目指し、荒廃した山林の整備や古茶樹の保全、倒木撤去、沢の清掃を行っている。当該活動は、山林の植生回復や水流確保、土砂崩れ防止などの成果が現れ、地域の環境保全や安全確保にも貢献しており、地域と世代をつなぐ新しい担い手育成モデルとして、教育効果と社会貢献の両立を実現している。</p> |